

① 回復期リハビリテーションの適用

回復期リハ適応疾患を有し、リハビリ実施が可能な患者さん
機能改善により在宅復帰を目指せる患者さん

② 在宅復帰を目指した高齢者の疾病の治療

治療・医学的管理が必要な患者さん
在宅復帰が期待できる患者さん
医療区分 2/3 相当のレスパイト入院
短期リハビリ入院

③ 療養およびリハビリテーションによる ADL/QOL の改善

後遺症や特定疾患により在宅療養が困難な患者さん
長期間の治療・医学的管理が必要な患者さん (医療区分 2～3)
(高機能・専門病院での治療が勧められるが、希望しない場合を含む)
医療区分 2/3 に相当しない、以下の患者さん
介護老人保健施設への入所待ち
病状不安定で、施設入所も困難な患者さん

④ エンドオブライフケア

終末期対応、BSC 対応の患者さん
(持続点滴、麻薬、または酸素投与が必要な患者さん)

介護医療院

① 療養およびリハビリテーションによる ADL/QOL の改善

後遺症や疾患により在宅療養が困難な症例
(要介護度 1 以上)

② 高齢者救急ケア/ショートステイ

緊急に発生した諸事情により在宅療養が困難と
なった症例 (経管栄養、末梢点滴、カテーテル
管理が必要な症例 (要介護度 1 以上))

③ エンドオブライフケア

老衰、終末期対応、BSC 対応の症例 (要介護度 1 以上)

